



OTARU UNIVERSITY OF COMMERCE

令和4年度(2022年度)

# 地域医療 マネジメントセミナー

最前線に立つ実務家と  
複数の大学教員から実践的かつ  
専門的な知識を習得、戦略を立案

Regional Healthcare Management

小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻  
小樽商科大学グローバル戦略推進センター産学官連携推進部門



小樽商科大学長  
穴沢 眞

地域医療マネジメントセミナーのご案内

小樽商科大学は、平成27年度に、経済産業省による「産学連携サービス経営人材育成事業」に採択され、医療・福祉業界及びその周辺業界と連携して、3年間、「地域包括ケアシステムの中核を担う医療経営人材育成プログラム」を実施し、医療経営に携わる多くの人々から高い評価を受けてきました。支援事業は平成29年度に終了し、これまでの成果を、①ビジネススクール(大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻)の正課科目(特殊講義Ⅱ:地域医療マネジメント)、②現場と連動した研修プログラムに取り込み、自走化させることといたしました。そして、①は「地域医療マネジメントセミナー」と銘打って、学生以外の方々にも公開するとともに、令和4年度からは、本学グローバル戦略推進センター産学官連携推進部門に「北海道病院経営アドミニストレーター育成拠点」を設置し、このセミナーを含む履修証明プログラムとして「病院経営アドミニストレーター育成プログラム」を開講することといたしました。

小樽商科大学は、前身の小樽高等商業学校時代を含めると、今年で111年になります。戦前は北海道では唯一の文科系高等教育機関として、戦後は、国立大学では数少ない商学部の単科大学として、全国から学生を集め、社会の多様な分野で活躍する人材の育成に努めて参りました。特に近年は、微力ながら、北海道経済の発展に貢献するための教育研究を推進することを使命と考え大学運営を行ってきました。令和4年4月1日に小樽商科大学は帯広畜産大学、北見工業大学と経営統合し、国立大学法人北海道国立大学機構の一員となりました。新しい機構のミッションも北海道経済、産業の発展に寄与することであり、リカレント教育やリスキリングも重要な事項として位置づけられています。

少子高齢化、人口減少という社会構造の変化のなかで、地域医療を中心とした地域全体での健康増進、医療・福祉サービスの向上が求められています。そのためには、経営指標等に基づく経営改善や医療外の分野での新事業・新サービスの創出を担う経営管理能力を備えた人材が必要です。このセミナーがこれらの課題に少しでも貢献できれば幸いです。

## 目的

## セミナー概要

医療・介護・予防・生活支援を一体展開する「地域包括ケアシステム」の推進が望まれる中、医療・福祉機関及びその周辺機関において、経営マネジメントを担う人材の育成、強化が進められています。本セミナーでは、地域包括ケアシステムの構築に向け、広く社会の流れを俯瞰しながら、ヘルスケア（医療・介護・健康）領域において多様なプレーヤー間の連携をマネジメントし、イノベーション創出を牽引できる人材の育成を目指します。地域包括ケアシステムにかかわるプレーヤーや課題の多様性を理解することを目的として、医療マネジメントだけでなく、歯科診療、介護サービス、ソーシャルビジネスを含む地域医療サービスの創出など、ヘルスケア全般におけるトピックスを毎回それぞれの分野を代表する専門家を招いてレクチャー及びグループ討議を実施します。

なお、本セミナーは、小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻（OBS:OTARU BUSINESS SCHOOL）にて、開講する正課科目「特殊講義Ⅱ（地域医療マネジメント）」を医療機関等での実務経験を有する社会人向けセミナーとして開放するものです。

### ▼ 受講対象者 以下のいずれかに該当する方

- 医療機関等ヘルスケア関連産業で5年以上の実務経験を有する方
- 大学を卒業した方
- 以上の項目に準ずると認められる方

※お申し込みいただきました書類を元に、選考の上、受講者を決定いたします。  
選考結果については、9月16日（金）以降、メールにてご連絡いたします。

修了要件／出席3分の2以上（6モジュール以上）・事前事後の課題提出・最終レポートの提出  
以上の要件を満たした方には、受講修了証を交付いたします。

また、受講修了証の取得をもって「病院経営アドミニストレーター育成プログラム」の

履修済み科目として認定されます。※詳しくはホームページをご覧ください。 [https://obs.otaru-uc.ac.jp/hma\\_program/](https://obs.otaru-uc.ac.jp/hma_program/)



申込み締切日／9月16日（金） 受講料／40,000円

### 講義イメージ図

実践的かつ  
専門的な知識の習得

ディスカッション  
・ネットワーキング

手厚いサポート

戦略立案



## プログラムの特徴

65歳以上の人口は、3,000万人を超え（国民の約4人に1人）、2042年の約3,900万人でピークを迎え、その後も、75歳以上の人口割合は増加し続けることが予想されています。このような状況の中、団塊の世代（約800万人）が75歳以上となる2025年以降は、国民の医療や介護の需要が、さらに増加することが見込まれています。

このような状況に対し、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう地域包括ケアシステムの構築が進められており、医療業界が大きなパラダイムシフトを迎える中で医療・介護福祉機関、そしてヘルスケア産業

におけるイノベーションや異業種と連携した新サービスの創出を牽引できる経営人材の育成・輩出が喫緊の課題となっています。

本プログラムでは、こうした人材の育成を目的として、ヘルスケア領域の最前線に立つ実務家と複数の大学教員によるオムニバス形式で講座を実施し、現役のビジネススクール学生と医療・介護業界のみならずヘルスケア産業界からの受講者によるディスカッションを活性化し、実際の現場へ経営理論を踏まえた具体的な解決方法に対するアプローチや内外の組織を動かし、新しいビジネスを創出できるよう講師陣、受講者が一体となって講座を展開します。

※経営学の基礎的知識に不安を感じている方へは、事前学習のためのオンデマンドコンテンツを用意しています。

※一部、厚生労働省「地域包括ケアシステム」から引用 [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi\\_kaigo/kaigo\\_koureisha/chiiki-houkatsu](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/chiiki-houkatsu)

## ▶ 特殊講義Ⅱ（地域医療マネジメント） *Special Topics II*

一般的に大学で開講される90分の授業では、グループワークやディスカッション、プレゼンテーションが中途半端になったり、1つのテーマが数週にわたって議論されることもあるため、それまでの講義内容の記憶が薄れ、学生がテーマに集中することが難しくなります。本セミナーは、モジュール型（集中連続）授業とし、1回の授業を2時限連続（90分×2=180分）で行い、集中的に学習します。



本セミナーでは、次の授業までの間隔を有効に使えるように、各回に、事前準備と復習を課すことで、学習効果を高める工夫をしています。

### 事前準備

- 第1～7回：講師からの事前課題に対して取り組む
- 第8回：プレゼンテーションの準備を行う

### 復習

- 第1～7回：グループ討議の内容を、2,000字程度でまとめる
- 第8回：各自の専門的な立場で、地域医療の課題と今後の戦略についてまとめる

第1回 9月28日(水) 18:30~21:40

## 社会保障の世界史と我が国の展望

株式会社ほくやく・竹山ホールディングス  
代表取締役社長 **眞鍋 雅信** 氏

## 第1時限

社会保障の世界史と我が国における  
今後の在り方について理解を深める。  
超高齢社会を迎える我が国の医療・介護・保健・福祉  
から多世代共生と地方創生を展望する。

## 第2時限

専門的なサービスを提供する施設「以外」に  
どのような生活支援を要望するか、  
具体的なサービスについてグループ討議する。

第3回 10月26日(水) 18:30~21:40

地域医療の目指すべき方向と  
地域との共生

溪仁会グループ 最高責任者  
医療法人溪仁会  
理事長 **田中 繁道** 氏



## 第5時限

地域に根差す医療の考えや戦略の展開について学ぶ。  
また、地域医療連携推進法人制度について、  
北海道の事例を交えその動向を紹介する。

## 第6時限

医療経営では打ち手となる施策が制度・政策に  
よって固定化されやすい環境であることを踏まえ、  
地域医療構想の実現に向けた課題と対策について  
グループ討議する。

第2回 10月12日(水) 18:30~21:40

地域ヘルスケアマネジメントの考え方と  
共通価値の創造

小樽商科大学大学院商学研究科  
アントレプレナーシップ専攻 准教授  
グローバル戦略推進センター  
産学官連携推進部門  
地域連携推進部 主任 **藤原 健祐**



## 第3時限

「保健医療システム」、  
とりわけ「地域包括ケアシステム」について取り上げ、  
その現状と課題について理解を深める。

## 第4時限

ヘルスケア領域において  
CSV (creating shared value) を自社の経営戦略に  
取り込んでいる企業事例に基づき、  
具体的な推進方法についてグループ討議する。

第4回 11月9日(水) 18:30~21:40

## 地域ヘルスケアサービスの創出

株式会社日本総合研究所  
取締役専務執行役員 **木下 輝彦** 氏



## 第7時限

国内医療環境の現状と事業機会を整理するとともに、  
これからの国内医療環境の変化を予測しつつ、  
デジタルヘルスケアの進展について  
事例を基に解説する。

## 第8時限

具体的なデジタルヘルスケア商品(サービス)  
について、原因仮説と解決策をグループ討議する。

第5回 11月30日(水) 18:30~21:40

### 地域に根差した医療提供 ～診療から予防までの歯科診療～

医療法人社団林歯科医院  
元理事・歯科医師 **林 春美 氏**



旭川医科大学  
准教授 **谷 祐児 氏**



第9時限

地域医療に貢献する歯科診療の役割から  
地域包括ケアシステムを議論する。

第10時限

歯科医院のケースに基づき、  
歯科診療におけるサービスの課題と  
その発展方法についてグループ討議する。

第7回 1月11日(水) 18:30~21:40

### 介護サービスの重要性と 介護を軸とした新たなビジネスモデル

さくらCSホールディングス株式会社  
代表取締役兼CEO **中元 秀昭 氏**



小樽商科大学 大学院商学研究科  
アントレプレナーシップ専攻  
教授 **猪口 純路**



第13時限

地域包括ケアシステムを支える  
介護サービスの進化について学習する。

第14時限

医療・介護サービスを含む保健医療システムには  
利害の異なるプレーヤーが存在することを踏まえ、  
地域包括ケアシステム構築にあたっての  
課題と解決策についてグループ討議する。

第6回 12月14日(水) 18:30~21:40

### 地域連携による ソーシャルビジネスの展開

生活協同組合コープさっぽろ  
理事長補佐 **中島 則裕 氏**



NPO法人ソーシャルビジネス推進センター  
理事長 **相内 俊一 氏**



第11時限

ソーシャルビジネスの重要性と  
“ニーズ”、“リソース”、“ポリシーオリエンテーション”の  
分類について学ぶ。

第12時限

地域連携によるソーシャルビジネスの展開にあたり、  
それぞれに利益が得られる形でのビジネスモデルの  
構築が求められることを踏まえ、新たなソーシャル  
ビジネスのモデルについてグループ討議する。

第8回 1月25日(水) 18:30~21:40

### プレゼンテーションとクラス討議

小樽商科大学大学院商学研究科  
アントレプレナーシップ専攻 准教授  
グローバル戦略推進センター  
産学官連携推進部門  
地域連携推進部 主任 **藤原 健祐**



第15時限

地域包括ケアシステムの構築に向け、  
分野横断的発想に基づき異業種連携、産学官連携といった  
多様なプレーヤーを巻き込んだビジネスモデルを構想し、  
各自がプレゼンテーションを行う。

本セミナーでは、自宅等での学びを支援  
するため、学修管理システム“manaba”  
を活用し、事前・事後課題、資料閲覧、  
レポート提出を行います。



## 受講場所



## 小樽商科大学 札幌サテライト

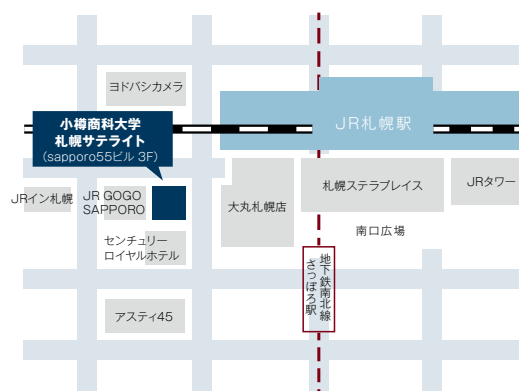
〒060-0005

札幌市中央区北5条西5丁目7番地 sapporo55ビル 3F

TEL:(011)218-6377 FAX:(011)218-6378

- ✈ 羽田空港 ▶▶▶ 新千歳空港 …………… 飛行機90分
- 🚆 JR小樽駅 ▶▶▶ JR札幌駅 …………… 快速32分
- 🚆 JR新千歳空港駅 ▶▶▶ JR札幌駅 …………… 快速40分
- 🚶 JR札幌駅西改札口 ▶▶▶ 札幌サテライト …… 徒歩2分

※駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。



## 申込方法

受講申込書に必要事項を記入し、FAXまたはE-mailにてお申し込みください。

申込み締切日 / 9月16日(金)

※受講申込書は本学HPからダウンロードできます。

URL:<https://www.otaru-uc.ac.jp/cgs/iag/>



## 本学より、「申込受付」確認のご連絡をいたします

本学が、申し込みを受領したことをお知らせいたします。

※お申し込みをされてから、一週間経過後でも連絡がない場合はお問合せください。

## 本学より、「受講決定通知」をお送りいたします

選考の上、受講決定通知をお送りいたします。

※選考にもれた方にも、メールでご連絡いたします。

## 受講料をお振込みください

受講決定通知に記載の口座に、受講料をお振込みください。

## 注意事項:

- ①本人以外の受講はお断りいたします。
- ②担当講師、講義内容、日程に変更が生じる場合があります。ご了承ください。

## 個人情報の取り扱い:

- ①受講申し込みの際にお預かりした個人情報は、講座の実施や本学が開催するイベントの案内、および調査統計に利用いたします。法令に基づき開示することが必要となる場合を除き、第三者への提供はいたしません。
- ②本セミナーの広報等のため、写真撮影のご協力をお願いする場合があります。



## 受講生の声

様々な職種の方と、意見交換、価値観の共有ができました／歴史的背景を理解することにより、社会保障のなりたちや役割を改めて学ぶことができ、我が国の現状への認識が深まりました／実際の医療現場の方の意見もうかがうことができ、期待以上の内容でした／日本、及び世界のビジネスの動向がわかり、それぞれを活用し、つなげるにはどうしたらよいかを考察する知識を得ることができました／目的・理解定着へのプロセス・活用方法、どれも明確で、非常に有意義な講義でした／非常に勉強になり、仕事へのモチベーションアップにつながりました／グループワークでは、自分には無い豊かな発想での具体策が飛び出し、楽しみながら、現場のあり様や管理者としてのあり方を振り返ることができ、学びが深まりました／それぞれの職種・立場から地域包括ケアシステムを構築していくために必要な取組みを学ぶことができました／地域の住民にとって、どのようなことが望ましいかを考える機会となりました／異業種との事業提携による新しいビジネスチャンスのヒントが得られました

国立大学法人北海道国立大学機構

小樽商科大学

〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号

<お問い合わせ先>

北海道病院経営アドミニストレーター育成拠点事務局

TEL:0134-27-5499 FAX:0134-27-5293

E-mail re-current-hm@office.otaru-uc.ac.jp



OTARU UNIVERSITY  
OF COMMERCE

<https://www.otaru-uc.ac.jp/>